

修学旅行グアムコース 日程別まとめ

1日目

学校→新千歳空港→グアム空港→ホリディリゾート&スパグアム

10月21日（月）6：30に学校に集合し、6：45に結団式を行い、清水 翔太くん（2組）の挨拶で旭川大学高等学校を出発しました。全員元気いっぱい搭乗前の時間にも空港内の店で買い物をし、食事をとっていました。

新千歳空港を11：55に出発し、グアム空港に17：40に到着しました。生徒の大部分が海外旅行が初めてであり、緊張した面もちで入国審査を受けていた様子が印象的でした。

全員が入国審査を終えて、外に出る頃にはすっかりと暗くなっていましたが、南国特有の湿度の高い環境に生徒も驚いていました。

宿泊するホテルであるホリディリゾート&スパグアムに到着後は、すぐに夕食です。夕食会場では長い移動時間であったにもかかわらず、食欲があり、元気な様子で安心しました。

その後、21：30に班長会議を開き、22：00に点呼し、初日は終了になりました。



<出発式の様子>

関西・関東コースの生徒とともに出発式を行いました。

写真は校長先生の挨拶の様子になります。校長先生には今回グアムコースの団長として引率していただきました。



<新千歳空港の様子>

長い移動日になりましたが、移動の最中も元気いっぱいでした。



<グアムでの初めての食事>

グアムでの初めての食事をホテルで食べました。アメリカらしい(?) ワイルドな料理も数多くありましたが、ホテルの食事はおかわりもたくさんしていました。



修学旅行グアムコース 日程別まとめ

2日目

ホテル→アサン太平洋戦争国立公園→太平洋戦争記念館→アブガン砦→ラッテストーン公園
&スペイン広場→恋人岬→昼食→南太平洋戦没者慰霊公園→マイクロネシアモール→ホテル

2日目はあいにくの曇りの天気で、時折雨がちらつく天気になりました。しかし旭川に比べても気温は蒸し暑く、生徒は半袖で過ごすことができるような天候でした。

朝から元気いっぱい朝食を摂り、部活動生の参加者は朝食前に榎本先生の引率のもとで朝練を行う生徒もいました。

この日の予定は歴史学習・平和学習でガイドさんに説明していただきながら、学習する日程になりました。非常に分かりやすい説明のガイドさんで楽しんで説明を聞くことができました。

最初に訪れたのはアサン太平洋戦争国立公園でした。バス内でも日本軍が上陸したところだということの説明されました。グアムに訪れてから初めての海に近づく機会、生徒は海の綺麗さに感動し、磯で見つけたカニやヤドカリと触れあう生徒もいました。次はアサン太平洋戦争国立公園です。大変立派な記念館で、戦争時の様々なものが展示されていて、映像も見ることができ、生徒も興味をもって、見学している様子でした。アブガン砦は景色の良い場所でした。大砲が設置されていて、多くの観光客が来ていました。ヤシの実が販売されていて、購入してジュースを飲んだり、果肉を刺身のようにわさび醤油で食べたりする生徒もいました。ラッテストーン公園は住居の土台となるもので、グアム島内でバス停など各所でこの形状のものが設置されていました。スペイン広場ではヨハネ・パウロ教皇像があり、喜んで生徒は写真撮影を行っていました。午前の最後は恋人岬に行きました。ガイドさんにも悲恋の話をしていただき、生徒も興味をもちながら話を聞き、観光することができました。ここでは天気が急変し、突然のスコールに見舞われました。生徒も南国特有のスコールにとっても驚いている様子でした。昼食はバイキングです。日本風の手巻き寿司など、豊富なメニューのバイキングで、生徒も喜んで食べていました。午後雨が残る中での観光になってしまいましたが、南太平洋戦没者慰霊公園に行きました。雨が降る中ですが、戦没者への慰霊の気持ちを込めて、お寺や記念塔のお参りをしました。事前学習をしてきた生徒たちでしたが、遠く離れた島がこのように日本と歴史的に関わりのあることに驚き、貴重な学習を行うことができている様子でした。

その後はお楽しみのショッピングです。マイクロネシアモールという大きなショッピングセンターで班ごとに買い物をしました。やはり日本にはないものや、値段の安いものも多くあり、生徒たちはショッピングを楽しんでいる様子でした。各自で夕食を摂り、無事に2日目終了しました。



<宿泊したホリディリゾート&スパグアムと海の様子>



<アプガン砦での集合写真> とても景色がきれいな場所でした。



<恋人岬での集合写真> この後ろにきれいな岬が広がっています。

修学旅行グアムコース 日程別まとめ

3日目

現地学校交流～サイモンサンチェス高校～ ビーチ&プール&自由散策

修学旅行3日目は、グアムの高校との交流会を行うためにサイモンサンチェス高校に行ってきました。交流会では、オープニングセレモニーとして宮田充くん（1組）が生徒代表で挨拶をし、現地学校とのプレゼント交換を行いました。その後、各校の歓迎パフォーマンスを行いました。サンチェス高校はKANの「愛は勝つ」を流暢な日本語で歌とダンスを披露してくれました。本校は2つのグループに分かれ、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」とゴールデンボンバーの「女々しくて」の2曲をダンスで披露しました。その後、1対1のペアを組みキャンパス見学や授業見学を行い、日本と海外の文化や学校生活の違いを感じると共に、英語での会話を通して英会話力・コミュニケーション力を確かめる良い機会となりました。最後は、持参したお菓子を食べながら談笑をしたり、EメールアドレスやFacebookのID交換をしたりするなど、楽しい交流会となりました。

<現地交流の様子>



サンチェス高校のパフォーマンス



旭大高のパフォーマンス



チャチャダンス



現地生とペアを組んでの交流

交流会終了後は、グアムで有名なバーガーランチを食べにジェフズパイレーツコーブへ行きました。これぞアメリカというようなボリューム溢れたハンバーガーを堪能してきました。また、周辺は太平洋側の美しい海に面しており、周辺散策やバスケットで汗を流している生徒もいました。美味しいバーガーと美しいロケーションに生徒たちも喜んでいる様子でした。

<ジェフズパイレーツコーブの様子>



昼食終了後は、約4時間の自由散策の時間となり、ビーチやプールで楽しい時間を過ごす生徒やショッピングに出かける生徒など、それぞれが思い思いの時間を過ごしていました。この日は天候も良くビーチでゆっくり過ごすには最適の日となりました。

<ビーチ&プールの様子>



修学旅行グアムコース 日程別まとめ

4日目

アトランティスサブマリン グアム島内自主研修 セイルズバーベキュー

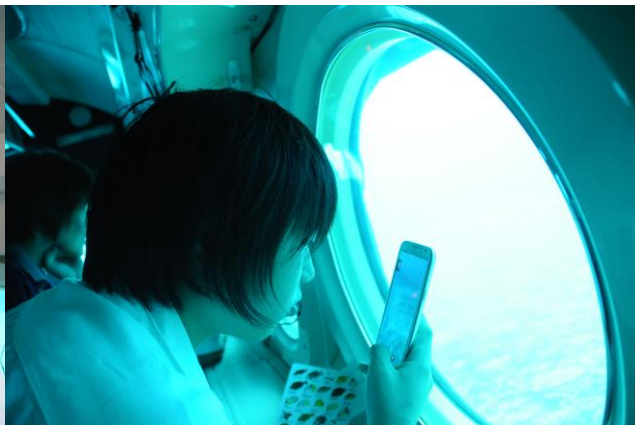
修学旅行4日目の午前中は、自然体験ということでアトランティスサブマリン（潜水艦）に乗船してきました。前日、ビーチで楽しんだ生徒も多くいましたが、今回は海中の美しい世界を体験してきました。海中には1万年かけて成長した珊瑚礁やきれいな魚が泳いでいて、とても神秘的な世界でした。普段では潜ることのできない水深40mの世界に生徒も釘付けになっていました。

午後からは、グアム島内自主研修でした。ほとんどの班がマイクロネシアモール、グアムプレミアムアウトレット、Kマート、DFSギャラリーとショッピングを楽しんでいました。生徒の中には、高価な時計や財布を購入したり、部活動の先輩後輩へのお土産を大量購入したりする者もあり、グアム島を思う存分に満喫していたように思います。

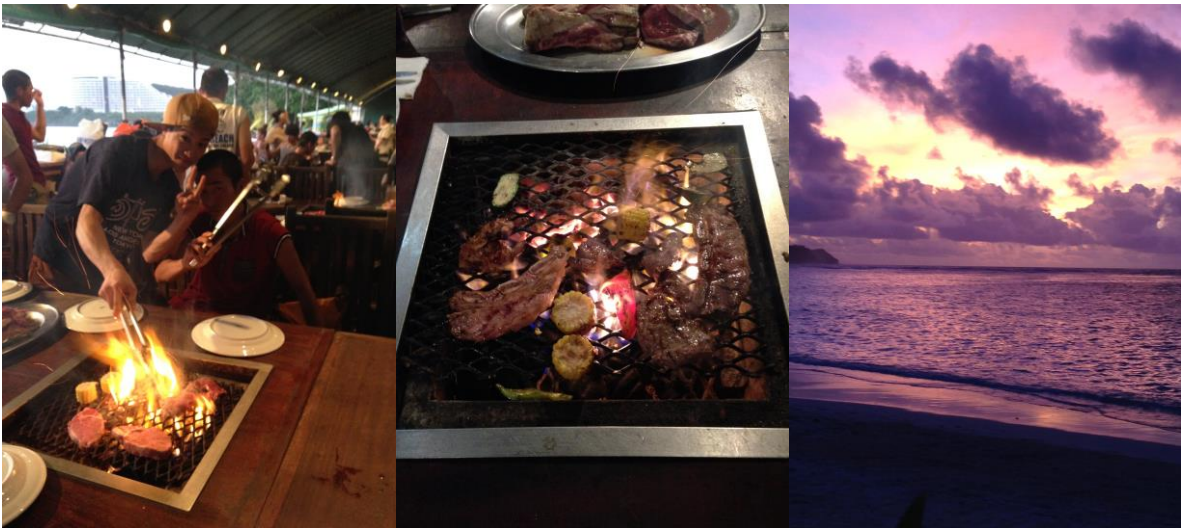
修学旅行最後の夕食は、タモン湾に張り出した絶好のロケーションにあるセイルズバーベキューへ行って来ました。この日は天候も良く夕日がきれいに見え、サンセットビーチでのバーベキューに生徒も喜んでいました。さらに、ボリューム満点のステーキと燃え上がる炎にテンションも最高潮に上がり、運動部の生徒達も大満足の様子で、あまりのボリュームにノックアウトされた生徒もいました。意外と女子生徒の方が最後まで食べ続けていたかもしれません。ロケーション、ボリューム、雰囲気は酔いしれた夕食となりました。

夕食終了後は、荷造りの時間となっていましたが、生徒の要望があり急遽ホテルのプールを開放することになりました。最後の最後まで楽しく過ごしたいという生徒の熱意に圧倒されてしまいました。グアム島最終日も朝から就寝時間まで、思う存分に楽しんでいる生徒に我々引率教員も終日笑顔が耐えない1日となりました。

<アトランティスサブマリンの様子>



<セイルズバーベキューの様子>



<プールでの様子>



修学旅行グアムコース 日程別まとめ

5日目

ホテル→グアム空港→新千歳空港→学校

5日目は移動のみの1日になりました。前日まで十分に楽しんだので、朝4:00起きは体に堪えるかと思いましたが、寝坊することなくスムーズに出発することができました。

グアム空港は5時台でも大混雑で、他の修学旅行生や観光旅行の人たちの様子も多く見られました。非常に込んでおり、セキュリティも厳しく行われたので、かなり時間に余裕を持ちながら移動を行っていましたが、ゲートに着く頃には搭乗という形になりました。

飛行機の中では寝ている生徒が大部分でしたが、元気に話をしている生徒もいました。日本に帰ってきたら、バスに乗り、高校までバスで戻りました。旭川は雨が降っており、非常に寒く風邪を引いてしまいそうな天候でした。

全員が病気や怪我をすることなく戻ってくることができました。保護者の方々やJTBの齋藤さんや添乗していただいた堤さんに協力いただき、大変感謝しております。

今後の学校生活も今回学んだことを活かしながら生活をしていてもらいたいと考えています。本当にお疲れさまでした。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

1班

班員：小野葉、矢萩瑞奎、小林みのり、酒谷美玖、山本あかね

1. グアムの歴史・平和学習について

主に修学旅行2日目のグアムの歴史・平和について学習してきました。みんなでバスに乗り、すごく元気のいいガイドさんの案内で始まりました。最初は、アサン太平洋戦争国立公園に行きました。グアムに来て、初めて海の近くに行きました。次は、太平洋戦争記念館へ。グアムであった太平洋戦争について、日本語のビデオを観ました。その後、アプガン砦→ラッテストーン公園&スペイン広場へ。南太平洋戦没者慰霊公園では、みんなで手を合わせてきました。最後に行った恋人岬では、偶然にも新婚のカップルの方たちがタキシードとウェディングドレスで記念撮影をしていました。多分、日本人の方だったと思うので、すごく有名な場所なんだと感じました。鳴らすと幸せになるという鐘をきっちり3回鳴らしてきました。



2. 現地高校交流について

現地の生徒さんたちは、私たちを快く受け入れてくれました。私たちは、AKB48の曲とゴールデンボンバーの曲をダンスして現地の生徒さんにプレゼントしました。反対に、現地の生徒さんは、日本の曲の「愛は勝つ」を日本語で歌ってくれました。曲に合わせた振り付けもあり、とてもすばらしくて感動しました。

私たちのダンスも喜んでもらえてとてもうれしかったです。

また、現地の生徒さんと盆踊りを踊りました。私たちは盆踊りを覚えてなくてなんとなくで踊っていたけど、いつのまにか変なおじさんの踊りを現地の生徒さんとやっていました。盆踊りではないけど、楽しく一緒に踊れてよかったです。

3. グアムの風土・食文化について

グアム空港を出た瞬間のグアムの空気はとてもモヤモヤしてました。でも、一步建物の中に入るとクーラーがガンガンにきいていて冷蔵庫の中のように天国でした。グアムは早朝から暑く、朝練はとてもいい汗をかけました。朝も夜も同じくらい暑くて、びっくりしました。ごはんは、正直口に合わなかったです。日本にあるような食べ物に似ていると思って食べてみたらまったく別物。とりあえず、どんな食べ物も甘かったように感じます。飲み物も、なんていったらよいのかわからない味で、水（ミネラルウォーター）が一番だと思いました。私たちの主食である米は、グアムではパサパサでした。パンもありましたが、へんに味がついていて、おいしいとはいえなかったです。また、ファーストフードのケンタッキーも日本と同じように考えていると大間違い！！びっくりしました。グアムでおいしかったのは味噌汁でした。



1班

代表：山本あかね

題：修学旅行を振り返って

4泊5日という長いようで短かったグアムは、初めてのことばかりで行く前まで楽しみの面もありつつ不安な面もありました。人数も、男子が31人、女子が10人という人数で、女子が少ないので5日間楽しく過ごせるのか心配にもなりました。当日を迎えて、バスで新千歳空港まで行き、飛行機に乗ってグアムに向かいました。空港でも出国するために出国審査などいろいろな手続きをしながら飛行機に乗りました。飛行機の中でも、初体験がありました。それは機内食です。私は飛行機には何度も乗ったことはあったのですが、機内食を食べるのは初めてでした。とても美味しかったです。そして、現地に着いたときには日本と1時間の時差があったのもう外は暗くなっていました。空港からバスに乗りホテルに向かいました。1日目は移動で1日が終わりました。

2日目は現地の歴史学習でした。太平洋戦争記念館やラッセストーン公園などに行き、グアムの歴史について学び、授業では習わないような新たな発見をすることができました。それから、恋人岬で美しい海を見ながら集合写真を撮りました。その後、バスに乗るとすぐに日本にはないスコールにあいました。体験したことがない雨だったのでびっくりしました。午後からは、大型ショッピングセンターのマイクロネシアモールで買い物をしながらいろいろな店を散策しました。Tシャツなどはアメリカ人サイズだったので選ぶのにとても苦労しました。1番大変だったのはお金を払うときでした。ドルを払うのはすぐにできたのですが、セントを払うときは慣れるまでにとても時間がかかりました。でも、普段経験できないことだったので勉強になりました。現地の赤いシャトルバスでホテルに向かいました。

3日目は、現地学校交流でサイモンサンチェス高校の生徒との交流でした。バスから降りて学校に入ったらたくさん生徒のみなさんがお出迎えをしてくれました。最初は不安でした。ですが1人1人にパートナーがついていたのですが、話をするのができるのかやっぱり不安でした。オープニングセレモニーで、サンチェス高校のみなさんが歌を披露してくれました。日本語で歌っていてとても上手だったのでびっくりしました。自分たちもAKB48とゴールデンボンバーを披露しました。生徒達も盛り上がっていたので良かったです。それから、校内見学でパートナーと一緒にまわりながら少しずつですがお話をすることができました。休憩時間ではお菓子を食べてながら交流しました。現地交流は長くて短い時間でした。それから、学校からバスに乗り昼食に向かいました。

4日目は、午前中にアトランティスサブマリンで海の底に行って珊瑚などを見ました。水深40mくらいまで行ってとてもきれいでした。午後からは、自主研修で2日目にも行ったマイクロネシアモールなどで行っていなかったお店などで買い物をしました。夕食は、ホテルではなくセイルズバーベキューでたくさんお肉を食べました。量が多かったので食べるのが大変でした。でも楽しくて美味しかったです。それから、バスでホテルに戻りました。

5日目は、朝が早く帰る日でした。前日から準備していたので慌てることはありませんでした。それから、バスに乗り空港へ向かい飛行機に乗りました。新千歳空港に着くと雨が降っていました。バスで昼食を食べて学校に着きました。

私はこの4泊5日を通して、グアムについて知らなかったことを知ることができました。さらに現地交流でも普段体験できないことが発見できたし、友達もできました。自分も少し成長することができました。また機会があれば行ってみたいと思いました。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

2班

班員：川島綾乃 皆木悠莉奈 磯部未紗 長谷川絵梨奈 森江つぐみ

1. グアムの歴史・平和学習について

最初はスペインの領土だったがアメリカの領土へ変わった。
日本の領土になり太平洋戦争があり、アメリカの領土にまたなった。
日本兵の横井庄一さんは戦争が続いていると思い、グアムのジャングルの中に
28年間潜伏していた。
防空壕の中に実際に入ってみて、あの中では生活していけないと思った。



2. 現地高校交流について

私たちは、サイモンサンチェス高校に行きました。一番最初にペアの人からカードをもらい、
ペアの人たちとホールへ集合しました。
先に現地の高校生が出し物をして、次に旭大高の出し物をしました。
出し物を終わった後ペアごとに分かれて、学校案内をしてくれました。
各教室で一緒に授業を行ったり、みんなでチャチャダンスを踊ったりしました。
その後ホールに戻り、現地のお菓子と、日本のお菓子を交換しました。
短い時間の交流でしたが、グアムの文化や絆に触れることが出来たと思います。



3. グアムの風土・食文化について

グアムはとても暑く黙っていても汗が垂れてくるほどでした。スコールがとてもひどく、降っているところと降っていないところがわかるぐらいすごかったです。

日本の匂いとは違いグアムは匂いがきつくあまりいい匂いではなかったです。

食べ物は日本でもなじみの店がいくつもあったのですが、別メニューがありすごく新鮮でした。

ホテルの料理は、おいしいものがあったのですがやはり日本食のほうがおいしいと、改めて気づきました。

日本食も置いてあったのですが、日本食とは少し違いしょっぱかったり、濃かったりしておいしいとはいえませんでした。

しかし、ハンバーガーやお菓子はとてもおいしかったです。

グアムの食文化や風土に触れて思ったことは、グアムで出来た思い出は、とてもいい思い出になったということです。

初めての事もたくさんあり大変でしたがとてもいい経験になりました。

またこのメンバーで行きたいと思いました。



2班

代表：川島 綾乃

題：修学旅行

1日目は朝早くから集まりました。6時半から集まり出発式を行いました。出発式ではみんな緊張した顔やわくわくした顔をしており、もう修学旅行が始まったと実感させられました。バスの中ではすごくわくわくしました。でも、朝早くから集合したのですぐに寝てしまいました。空港につくと航空券を渡されホールに集合しました。荷物のキログラムをはかるときはひやひやしました。空港内には、おみやげや食べるころなど色々なお店がありました。いざ飛行機の中に入ると外国人のキャビンアテンダントの人がいてすごいなと思いました。飛行機が飛び立つと体が浮いた感じになりすごく楽しかったです。機内食ではハムとチーズのサンドイッチやポテトサラダができました。デザートはチョコチップクッキーが出てきてとても美味しかったです。飛行機から外を見ると海が広がっていて、まるで空を見ているかのようでした。途中で所々で虹がでておりすごくきれいでした。そして、グアムの島が見えたときにすごく感動しました。グアムについたとたんに暑くなり、すごくむしむして窓が曇っていました。飛行機から出るともっと暑くなり、グアム独特のにおいがしました。入国審査では黒人の人たちが英語をしゃべっていて何を言っているかあまりわかりませんでした。でも、指紋確認をするとき、日本語を話せる人だったのですごく安心しました。その後バスに乗ってホテルまで移動しました。そのバスが左ハンドルでびっくりしました。車線がいっぱいあってそれまたびっくりしました。ホテルにつくとすぐに部屋に行きました。そして夕食を食べに3階に行くと外国だなと思う料理がならんでいました。おいしいものとあまり口に合わないものがあり、やっぱり日本食が1番だなと痛感させられました。そしてその夜は班長会議があり、無事に1日目を終わる事ができました。

2日目はグアムと日本の関係やグアムの歴史について学びました。話を聞いて思った事は日本はどれだけ良い思いをして、残酷なことをやってきたのだろうかということを考えさせられました。これからもし戦争が起こるとするならば、全力でそれを止めなければならないなと思いました。恋人岬は白い高台がありました。そこに行くと髪の毛が逆立ってすごく不思議な体験でした。昼食はバイキングでした。おすしが置いてあってとても驚きました。昼からは大型ショッピングモールのマイクロネシアモールに行き、良い買い物ができました。

3日目は学校交流会があり、とても良い体験ができました。英語がまったくわからず苦勞したのですが、何とか通じたときはすごくうれしかったです。それから、綱引き、フラフープくぐり、授業体験、チャチャダンスをしました。チャチャダンスはとてもおもしろく、簡単なのですぐに覚える事ができました。その後のビーチでも楽しく過ごすことができました。

4日目は自主研修でした。私たちの班はアウトレットモールに行き、ABCマートに行ったり、くつ屋を見に行ったりしました。そしてまたシャトルバスに乗りJPスーパーストアや免税店に行きました。どのお店も中が広く品ぞろえがすごかったです。その夜はバーベキューでとてつもなくでかい肉がありました。3枚ぐらいでお腹いっぱいになってしまい、あまり食べられませんでした。お店の前にあったビーチでも遊びました。サンゴがあってとてもきれいだったので持って帰りました。その後ホテルに帰ってからプールに入りました。プールから上がった後にニコニコマートでチョコクッキーアイスを買って食べました。とても甘くおいしかったです。

5日目は朝早くからおき、飛行機に乗って日本に帰りました。とてもさびしい気持ちになりました。また、グアムに行きたいです。全体を通して思った事は、やっぱり日本というのはすごく良いところなんだなと思いました。料理もおいしく、空気もきれいで、北海道に住んでいて良かったなと思いました。北海道が大好きです。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

3班

班員：加藤諒 中澤魁 馬場凌祐 荒閑龍二 土村波音

1. グアムの歴史・平和学習について

太平洋戦争記念館に行って戦争のビデオを見て日本との関わりやチャモロ人の生活をみてきました。戦争で使った大きな魚雷や防空壕も見られてとてもいい経験になりました。



2. 現地高校交流について

現地交流ではサイモンサンチェス高校と交流をしてダンスや盆踊りをしたり授業参観などや日本と現地のお菓子と交換をしたりしました。とても楽しい交流でまた機会があれば行きたいです。



3. グアムの風土・食文化について

グアムはとても暑くて歩いているだけで汗がでていて日中で32度ありました。日本は秋なのに考えられない気温でびっくりしました。たまに降ってくるスコールにもびっくりしました。

グアムのご飯は日本とは全く違った味で日本人には難しい味でしたが魚や肉はとてもおいしくいただきました。ハンバーガはとてもおいしく日本とは大きさが全く違っておいしかったです。



3班

代表：加藤 諒

題：修学旅行の思い出

1日目、朝早く集まり、出発式を行い、先生方や校長先生にお話をしていただき、荷物を積み込み、出発した。バスは旭川北から千歳まで高速道路に乗り、バスの中では話をしたり、寝たりしていると気づいたら千歳について、空港で色々手続きをした。空港内では少し時間があり、空港内のローソンで買い物をして、11時55分に新千歳空港を出発した。今回で飛行機は2回目だった。飛行機が飛び立つ瞬間はとても気持ちが悪かったけど、上空に行くと何事もなく、1時間ぐらいたつと機内食のサンドウィッチが出た。機内食を食べた後、少し経つと入国手続きの書類を書き、英語で書かなければならないところも多くあったので大変だった。17時40分にグアム空港につき、ついでから入国手続きをするためにならんで自分の順番になり、大きいアメリカ人が英語で質問してくると思ったら日本語で質問をしてきたのでびっくりした。何も問題はなくすんなりとゲートをくぐりぬけられた。空港から出た瞬間は、夜なのに、とても暑くてじめじめしていたので、とても不快だった。バスに乗ると中はとても涼しかった。ホテルについてすぐに夕食のバイキングで、自分のほしい物だけとり、食べてみたが、何ともいえない味で、食べてびっくりするようなものが多くあったので、日本人には合わない味だと感じた。1日目はこれで終了になった。

2日目はグアムの歴史と戦争の学習だった。アプガン砦やラッテストーン公園&スペイン広場、南太平洋戦没者慰霊公園、恋人岬などに行った。感想は戦争で亡くなった方が多くいることから、戦争はするべきではなく、なくなるべきだと思った。午後からはマイクロネシアモールに行った。マイクロネシアモールは日本でいえば、イオンのようなショッピングセンターで、時計など日本で買うより安いし、自分に合うような大きいサイズもあったし色々な物がたくさんあった。夕食はマイクロネシアモールで班で食べました。自分たちの班はマクドナルドに行き、飲み物のコップが日本では考えられないほどの大ききで飲むのが大変だった。

3日目は現地学校交流があった。最初はとても不安だったけど、行ってみたらとても楽しかった。ほとんどが英語で分からないときもあったけど、パートナーが日本語で話してくれるときもあり、楽しかったし、今思えばもっと交流すれば良かった。午後からは買い物や海に行った。海は北海道ではありえないくらい青くてキレイだった。

4日目は潜水艦に乗り、海の中に入って、変わった魚やサンゴを見る事ができてとても良かった。午後からは買い物に行き、夕食はバーベキューだった。そこで色々はしゃいでしまって、人に迷惑を掛けてしまったのは反省だった。

5日目は朝早くに起きて、グアムを出た。日本に到着し、北海道はとても寒かった。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

4班

班員：秋山耀比 川端敬人 川口奨弥 井口拳吾 藤川武志

1. グアムの歴史・平和学習について

今まで興味も持ってこなかったグアムの歴史を知り、自分たちの中の何かが変わったような気がします。このグアムで起きたことには日本も大きく関わっていて人事ではないことを痛感しました。けどもう起きてしまったことは仕方がないことなので、これからの行動が大事になってくると感じました。



2. 現地高校交流について

私たちが最初に思ったことは、学校の中が暗いと思ったことです。でも、現地の高校生の人たちは対照的に明るかったです。

個性的な人が多く、パートナーとして一緒に学校の中をまわった人はもちろん、それ以外の人とも仲良くなることができました。

この学校で過ごした時間はとても楽しく、有意義な時間でした。



3. グアムの風土・食文化について

グアムはとても暑く、飛行場を出た瞬間のあの衝撃は忘れられません。

3日以降は昼間、太陽が出ていてまだ暑いだけなのでたいしたことはなかったのですが、2日目のような、曇っていて、雨が降っているときの蒸し暑さは、死ぬほどつらかったです。何もしなくても汗が吹き出しました。とにかく暑かったです。

食事は、正直おいしくなかったです。特にホテルの食事は日本の自分たちに合わせて作ってくれたのだと思いますが、ご飯は硬く、味付けも濃かったので口に合いませんでした。あと、ファストフード店の飲み物は、サイズがとても大きく、飲みきれないほどでした。Mサイズでも日本のLより大きく、Lサイズでは2Lペットボトルと同じくらいの量でした。とりあえず、大きかったです。



4班

代表：川端 敬人

題：修学旅行

高校生活最大のイベントである修学旅行は、とても楽しく充実したものでした。自分は旭大高に入学が決まったときから、修学旅行はグアムコースにしたいと思っていて、その期待を上回ってくれる楽しさでした。見たことがないものがほとんどだったので、見るもの全てに感動しました。

まずグアムの空港について、外に出た瞬間に感じたことはとにかく暑いということでした。ただの暑さではなく、蒸し暑さで息がしづらかったです。だけど、逆に建物の中はどこも冷房がかなり効いていて、寒いと感じることが多く、自主研修での移動はとても疲れました。

このグアムでの修学旅行での一番の思い出は、現地の学校と交流したことです。1人1人にパートナーがついて、学校をまわったり遊んだりして、とても楽しかったです。自分のパートナーはすごく个性的で、最初は正直嫌だったのですが、一緒に学校をまわっていくうちにそうではなくなり、最終的には楽しく話せるようになるまで仲良くなれました。自分は英語が全く駄目なので、コミュニケーションをとれるか、最初は不安でしたが、相手もそれを配慮してくれてiPadで英語を日本語に訳してくれたり、身振り手振りで伝えたりしてくれて本当に助かりました。自分もできる限りのことはしたのですが、やはり難しかったです。でもこの環境で過ごしていれば英語がぺらぺらになれると確信しました。交流していた時間はとても短く、もっと交流していたかったです。

2日目は天気が悪く1日中曇りで雨が降っていましたが、3日目以降は快晴でとても気持ち良かったです。ようやくグアムらしくなってきたなという感じでした。

次に思い出になったところは4日目の潜水艦に乗ったことです。まずその潜水艦に乗るまでに船で移動をしたのですが、生まれて初めて船に乗りました。最後には操縦桿を握ることもできる思い出です。潜水艦は、乗る前から緊張をしていましたが乗ってみると神秘的な景色に感動しました。またいつかきれいな海に潜ってみたいと思いました。

買い物は、自分の買いたいもの、お土産、すべて計画通りに買って、満足しています。ですが、自分としては少し残すくらいの余裕を持って買い物をしたかったのですが、金銭感覚がずれてしまい所持しているお金を全て使ってしまいました。

この修学旅行は本当に楽しかったです。心から行って良かったと言える旅行だったし、今まで話したことがなかった人ともいろいろな話をすることがき、様々な経験をすることができました。またグアムにみんなで行きたいです。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

5班

班員：富田敦也、坂本隆生、上杉真之介、田村祐貴、渡辺翔太、田中大聖

1. グアムの歴史・平和学習について

二日目にグアムの歴史について学びました。太平洋戦争のことや横井庄一さんのことも現地で学びました。なんと横井さんは戦争中、洞窟の中で20年以上も身を潜めていたそうです。その後に行った恋人岬にある鐘を3回鳴らすと幸せになるそうです。



2. 現地高校交流について

現地交流では、現地のサイモン・サンチェス高校に訪問してパフォーマンス交換、校内見学、お菓子交換、チャチャダンスなどを踊り楽しみました。

サイモン・サンチェス高校の生徒に日本の「愛は勝つ」という曲を振り付けつきで踊ってもらいました。とても素晴らしかったです。みんなノリもよく楽しめました。

もうこういう経験はないと思いますが、何らかのきっかけがあればぜひ行きたいです



3. グアムの風土・食文化について

グアムは日本と違ってまずサイズが大きかったです。飲み物だったら日本でいうSサイズを頼むとLサイズくらいの大きさのものがでてきます。ほかの食べ物も基本量が多いです。

グアムに到着してグアム空港を出た瞬間に熱気がぶわっと押し寄せてきました。気温は北海道の夏プラスサウナのじめじめした感じです。歩いただけで汗が止まりません。でも屋内はどこも涼しく快適でした。

歩くところの看板を見ても日本語ばかりだったので助かりました。もう一度行きたいです。



5班

代表：上杉 真之介

題：修学旅行

今回、2012年10月21日～10月25日の5日間で男子31名、女子10名の計41名でグアム島へ行った。国外というわけで、異なる言語、文化での5日間の旅行で、ほとんどが不安なことばかりだった。でも、いざ行ってみると、言語も多少の日本語でも通じて、少し英単語を分かっていたら、理解できた。文化も大きくわからないことはなかったが、ホテルで、朝起きたら、枕元に1ドル、ホテルマンへ感謝の気持ちとして置いておくという習慣など、日本では見ない文化を知る事ができた。

1日目、朝7時に学校を出発して、夜7時にグアムのホテルに到着するという、移動だけの1日になったが、新千歳空港での出国審査、グアム空港での入国審査など、国外へ行くための、初めてやる事があった。添乗員さんが、丁寧に説明してくださってなんとかできた部分もあった。とてもいい勉強になった。

2日目、太平洋戦争国立公園、太平洋戦争記念館へ行き、横井庄一さんや、戦争の歴史を学んだ。その後、アプガン砦や、恋人岬へ行き、記念写真を全員で撮った。恋人岬にある鐘を3回鳴らすと、幸せになるという。恋人岬の店に売っているパイナップルジュースはおすすめ。午後からはグアム最大の大型ショッピングセンター、マイクロネシアモールへ行き、ショッピングをした。ここでは、メーカーの服や、時計など、その他、食事をする場所が多数あるのでとてもおすすめ。そこから、ホテルへ帰り、2日目は終了となった。

3日目、午前中は、自分が1番楽しみにしていたグアム現地の学校、サイモンサンチェス高校へ行き、生徒と交流会を開いた。全員それぞれ、パートナーが付き、会話や、学校案内をしてくれた。授業を30分ほど見学したが、授業中、普通に立ち歩いて、ゴミを捨てに行く人もいたし、みんなとても時間にルーズだった。グアムの伝統踊り、チャチャダンスという踊りをやったが、日本でいう盆踊りみたいな感じで、言ってしまえばチャチャダンスの方が楽しくノリノリで踊る事ができた。最後は、お菓子を交換し合って、交流会は終了となった。途中の、パフォーマンス交換では、サイモンサンチェス高校の生徒が、振り付け付きの、「愛は勝つ」という歌を歌ってくれた。完璧に出来ていて、あれは何日も前から練習していたと思う。交流の中で1番感動した。その後、移動して、昼食のハンバーガーを食べて、そこからは自由時間で、ホテル近辺を散歩したり、海へ行ったり、ホテル内のプールで遊んだりして、3日目は終了になった。

4日目、午前中、2班に分かれて、アトランティスサブマリンという潜水艦に乗り、海底40メートルまで行き、たくさんきれいな魚を見た。午後からはグアム島内自主研修で、アウトレットで昼食のサンドウィッチを食べ、ショッピングをして、その後2度目のマイクロネシアモールに行ってショッピングをした。2回目だったので、だいたいどこにどの店があると分かっていたので、スムーズにショッピングをすることができた。その後夕食は海の近くで、バーベキューを食べて、終了となった。最終日は、移動で終了となった。とても充実した修学旅行になった。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

6班

班員：菊地空、小林亮太、小浜空、植田雅大

1. グアムの歴史・平和学習について

日本との戦争について初めて知ることができました。

グアムはいろいろな国が奪い合っていて、最終的にアメリカが勝ち取っていてアメリカは本当に強いなぁ～（植田風）と言っていました。

日本との関係が回復して今に至っているのは、がんばって戦った日本人のおかげだと思うので普段の私生活から感謝の気持ちを忘れずにしていきたいです。



2. 現地高校交流について

ダンスやお菓子交換、学校見学をして友情を深めていきました！

植田がセンターを勤めたゴールデンボンバーでは涙やいろいろ出るくらい皆盛り上がっていて、植田もはしゃいでいました。

小林はカールという親友ができて、お互いに楽しそうでした。



3. グアムの風土・食文化について

グアムの食べ物は日本と違い、あまり口に合わなかったのですが、外国らしい食べ物で感動しました。

天候はあまり恵まれていなかったのですが、最後あたりはとても晴れてくれて、海もとても綺麗でした。海はとてもしょっぱく、長くは入れませんでした。

感想

時には楽しく、時には辛く、山あり谷ありでしたが、とても勉強になることばかりでした！

皆との絆がとても深くなったと思いました！



6班

代表：小林 亮太

題：ぼくとカールの修学旅行

高校生活最大の行事である修学旅行で自分は、グアムに行きました。1日目、朝早く起き、高校に行きました。自分の班のメンバーは、菊地 空と小浜 空と植田 雅大でこれから一緒に過ごすとなると楽しくなってワクワクが止まりませんでした。男子31名、女子10名でバスに乗り、空港へ行き、自分のはじめて外国のお金を見ました。日本円より少し長く紙がぺらぺらでした。飛行機に乗りグアムに行きました。日本との時差は、1時間ぐらいだったのでそんなに変わりませんでした。グアムは、とても暑く、木がいっぱいありました。ホテルに着き、みんなとプールにはいり遊びました。とても楽しい1日をすごしました。グアムの食べ物は、思ったよりもおいしく、とてもおいしく食べられました。

2日目は、グアムの戦争の記念館や恋人岬、お墓などにいきました。グアムの戦争の記念館では、グアムと日本の関係や歴史について学びました。歴史についてのビデオを見て、とても日本とふかいむすびつきがあったと知りました。次は恋人岬に行きました。恋人岬では、男女が髪を結んで自殺したエピソードが有名でした。とても景色がきれいで恋人岬で結婚式をあげていたので、とてもいいところなんだと思いました。昼食はバイキングでその肉がとてもおいしかったです。午後には、墓に行き、お参りをしてきました。その後は、待ちに待った自主研修のマイクロネシアモールに行きました。ステューシーの服が売っている店があって日本では4000円ぐらいの服がグアムでは2000円ぐらいで買えたのでとてもうれしかったです。自主研修の時間は、あっというまに過ぎてしまいました。帰ったらみんなでプールで遊びました。テンションが上がりすぎて夜は、そんなに眠れませんでした。

3日目は、学校交流で自分は、カールとパートナーになりました。カールは、人見知りでもそんなに目立たなさそうな感じでしたが、すごく感じの良い生徒で、学校案内を親切にしてくれました。グアム伝統のチャチャなどを教えてくれました。そして自分が「おういえい」と言っていたら、おばさんが日本語で「そうだね」って意味だと教えてくれました。そのときはじめて知りました。最後にカールは、シャボン玉と笛のついたおもちゃをくれました。とても楽しい午前でした。また学校交流したいと思いました。昼食は、海賊のレストランみたいなところでハンバーガーを食べました。とても肉が厚くおいしかったです。そのあとは、みんなで海に行き楽しみました。そのあとアウトレットや服屋に行きました。夜は、みんなでトランプをしたりして過ごしました。

4日目は、2グループにわかれて潜水艦に乗りました。とても魚がいっぱいいてきれいな魚などがいて感動しました。午後は、マイクロネシアモールやステューシーの専門店に行きました。ステューシーの専門店では、B A P EとのコラボTシャツがあったのですぐさま買いました。とてもうれしかったです。夕食はバーベキューを食べました。みんなと最高の夜を過ごしました。

修学旅行はとても楽しく、日本語が少ししか通じなかったのが戸惑うときもあり、日本と違う文化などとても勉強になった面もありました。また修学旅行に行ったメンバーでもう1度グアムに行きたいです。

修学旅行グアムコース 学習のまとめ

7班

班員：張、宮田、小栗、中島、長谷川、宮道、篠原、加藤、岡崎、清水、長田

1. グアムの歴史・平和学習について

グアム山(=我無山)平和寺という建物がアメリカ合衆国グアム島に在ります。
太平洋戦争のような悲惨な戦争は、再び繰り返してはならない、
世界の人々は、みんな平和に幸福共存しなければならないという不戦の願いをこめて
最も激しい戦いのあった戦域の中心である島、グアム・ガダルカナル・ボルネオに、
すべての戦没者を合祀する表徴的慰霊塔と平和記念公苑を諸霊位の供養と世界平和の
祈願を行いつつ建設されました。写真は左：平和寺、右：合掌をイメージした慰霊碑です。



2. 現地高校交流について

現地高校交流ではお互いの高校が用意したパフォーマンスを披露し、
サイモンサンチェス高校を案内してもらったり、お菓子を交換したりしました。
外国の高校と交流でき非常に貴重な経験をさせてもらいました。
また、会いたいです。



3. グアムの風土・食文化について

〔グアムの気候〕

グアムの気候は日本とは違い、とても暖かく湿度が高かった。グアムは年間平均気温が27度であり、乾季と雨季が存在する熱帯性気候だ。そのため、Tシャツの着替えを多めに持っていけばいいと思った。

また、現地の天気は不安定で変わりやすかった。晴れていると思ったら、すぐに強烈な雨が降ったりした。これが俗に言う「スコール」というものだ。自分がいる場所は土砂降りなのに数メートル先は晴れているというような不思議な雨でした。



〔グアムの海〕

グアムの海はとても美しくどこまで行っても遠浅でした。そしてある程度先まで行くと「ドロップダウン」という場所があり、そこで遠浅は終わり一気に深くなってしまいます。

また、海の中は透き通っており、泳いでいくうちに、サンゴが増えていき、それにつれて、魚も増えていきました。魚は大きいものから小さいものまで、生息しており、色合いが鮮やかな魚が多かった。

グアムの海が美しいのは、ナマコが大量に生息しているためだと、ききました。ナマコは海の汚れを吸収し浄化させる生き物なので、処分してはいけないとのことでした。



〔グアムの食事〕

グアムでの食事はどれも高カロリーで、さらに量も多く、食べるのに苦労しました。

朝食には、甘いジュースがついてきて、買ったお菓子などは、どれも甘すぎて、一人ではたべられませんでした。また、スーパーなどに行くと、売ってるジュースはどれも日本より一回りおおきく、食文化の違いをととても感じました。しかし、食事はとてもおいしかったためとても満足のいく食事でした。



7班

代表：長谷川 聡

題：修学旅行の感想

今回の4泊5日のグアムの修学旅行は、ほとんどトラブルなく、楽しく過ごすことができました。

1日目。朝早くから学校の前庭に大きなキャリーを引き、数名の保護者と先生方に見守られながら迎えた出発式では、代表の清水のあいさつで気を引き締め、グアムへ出発しました。あとでも書こうと思いますが、移動の速やかさや時間を気にして行動するなどの点では、特に問題なく行程よりも早進行できていたと思う。新千歳空港へのバス移動やグアムへの飛行機移動は、ほとんど寝ていたの記憶にはありません。今回、初めて海外へ行きましたが、入国審査の大変さと時間のかかることに驚きました。これも、海外ならではの事だと思います。初日はほとんどが移動で、ほとんどを寝ることに費やしました。

2日目。午前中はバスでグアムの名所を回りました。太平洋戦争にまつわる映像を見たり、恋人岬などに行き、特に歴史のことについては少し興味があったので、とても色々なことを学ぶことができました。また、ガイドさんのトークも面白かったです。午後からは、グアムの中では一番大きいショッピングセンターである、マイクロネシアモールに行きました。さすがにグアムで一番のショッピングセンターということもあり、かなりの数のお店があり、アツという間に時間が過ぎていきました。特にジョーダンのグッズを専門的に扱っている店があり、とても楽しかったです。また、色々なお土産もマイクロネシアモールで買いました。夕食は、マイクロネシアモール内のフードコートでピザを食べました。サイズと金額の日本との違いに驚きました。

3日目。この日の午前中は、現地高校生との交流ということで、サイモンサンチェス高校へ行きました。コミュニケーションは主に英語だったので、とても良い経験となりました。現地の高校生がグアムのことや日常生活のこと、学校のことを教えてくれました。現地高校生のパフォーマンスも、すばらしく、いっぱい練習したのだなと感じました。この現地交流でも、たくさんの思い出とすばらしい経験ができました。午後からは、ホテルからすぐのところにある海へ行きました。海にはここ数年、入っていなかったのもとても楽しかったです。また、夜にはプールにも入ることができ、今まであまり関わったことのない体育コースの人とも仲良くなれて良かったです。

4日目。この日の午前中はアトランティスサブマリンへ行きました。アトランティスサブマリンでは、班全員で記念写真を撮った後に、船で潜水艦の場所まで移動し、そこから潜水艦へ乗り移って、水深何十メートルという深いところまでもぐり、見たことのない魚や生きものを見ることができました。午後からは、班ごとに自主研修を行いました。私たちの班はザ・プラザやその周辺を見学しました。この周辺には多数のブランド店が多かったです。また、スイーツ店もあり、私もハーゲンダッツやゴディバに行き、甘いものを食べたり飲んだりしました。昼食はグアムでも有名な店で食べました。とても美味しく、ボリュームと値段も良かったです。

今回の修学旅行は行動も良く、すばらしい思い出になりました。最後に引率して下さった先生方、ありがとうございました。